

# 地歴 問

## 地理歴史等

平成 31 年度 (前期日程)

### 注 意 事 項

- 1 「解答はじめ」というまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は 1 冊(本文 21 ページ, 下書用紙 2 枚)で、解答用紙は 1 枚です。下書用紙は問題冊子の中に挟み込んであるので、引き抜いて使っても構いません。なお、問題冊子と下書用紙は持ち帰って構いません。
- 3 すべての解答用紙に受験番号を書きなさい。なお、受験番号は、次の要領で明確に記入すること。

(例) 1) 受験番号 50001 番の場合 → 

5	0	0	0	1
---	---	---	---	---

- 4 1) 世界史, 2) 日本史, 3) 地理, 4) 倫理, 政治・経済, 5) ビジネス基礎, 以上 5 科目のうちから 1 科目を選んで答えなさい。さらに、選択科目の番号を受験番号の隣の欄に書きなさい。

(例) 2) 日本史を選んだ場合 → 

				2
--	--	--	--	---

- 5 解答は、解答用紙の所定の位置に横書きで書きなさい。他のところにも書いても無効になることがあります。また、字数などの指示がある場合は、その指示に従って書きなさい。なお、字数制限がある場合、算用数字及びアルファベットに限り、1 マスに 2 文字入れることができます。それ以外の句読点や問題番号には 1 マスを使用すること。ただし、例えば「問 1」ならば「1」とのみ書いても構いません。なお、問題番号は問題ごとに指定された解答字数に含めます。

(例) 3) I の「問 1」の場合 → 

I	5								
I	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">1</td><td style="width: 20px; text-align: center;">.</td><td style="width: 20px; text-align: center;">.</td><td style="width: 20px; text-align: center;">.</td><td style="width: 20px; text-align: center;">.</td><td style="width: 20px; text-align: center;">.</td><td style="width: 20px; text-align: center;">.</td><td style="width: 20px; text-align: center;">.</td></tr></table>	1	.	.	.	.	.	.	.
1	.	.	.	.	.	.	.		

# 日 本 史

Ⅰ 次の文章を読んで、下記の問いに答えなさい。(問 1 から問 4 まですべてで 400 字以内)

前近代日本の産業の歴史を俯瞰してみよう。前近代日本の最も重要な産業は農業であり、鎌倉時代に作成された土地台帳である  をみると、院政期から鎌倉時代までの土地制度の移りかわりと土地経済の支配の様子が伝わってくる。その後、制度の変更を伴いながら、農業は前近代日本の基幹産業の役割を果たしていった。

一方で、農業以外の日本の産業の発展を考えると、律令税制の  や中世の年貢としても課されたその土地の特産物の生産が重要になる。地域によっては、中世の頃に特産物となったものが、江戸時代になると農家の副業などにより特産品 <sup>(c)</sup> として定着し、19 世紀に幕府が主導した  では、各藩の専売制の対象となった物産もあった。その多くは明治の統計で特有物産として把握された。

問 1 (a)に最も適切な語句を記入しなさい。また、(a)の作成目的を含め、下記の『小右記』の記述をふまえ、鎌倉時代までの土地領有関係の変遷について説明しなさい。

万寿 2 (1025)年 7 月 11 日の条の一部

天下  地悉為一家領，公領無立錐地歟，可悲之世也

\*  は欠損・不明を示す。

問 2 (b)に最も適切な語句を記入しなさい。

問 3 下線部(c)に関して、下記の  ～  に最も適切な語句を記入  
しなさい。

室町時代になると、各地の主要な特産品として、加賀・丹後での  ，越前・土佐での  ，備前・美濃での  ，などが  
知られていた。

問 4 (d)に最も適切な語句を記入しなさい。また、(d)に関して、とくに佐賀(肥前)  
藩と萩(長州)藩の事情について、それぞれの中心人物をあげながら、説明しな  
さい。

Ⅱ 次の文章を読んで、下記の問いに答えなさい。(問1から問5まですべてで400字以内)

第一次大戦期から戦間期(中略)の特徴は、農村の青少年男女の流出が盛んになり、その影響が広い範囲でみられるようになったことである。その背景には、第一次大戦期の好景気と第二次・第三次産業での旺盛な労働力需要があったこと、教育や文化面での都市と農村の格差が一段と大きくなって、都市の魅力が増したことがマスメディアなどによって広く知られたことが大きい。

(田崎宣義編『近代日本の都市と農村—激動の1910-50年代』より引用。但し、一部改変)

問1 1920～30年代に都市部を中心に教育と文化面での変化を担った社会階層があった。その名称と性格について説明しなさい。

問2 1918年に児童文学雑誌『赤い鳥』が創刊された。この雑誌の読者は問1の社会階層が主であったととらえられているが、この社会階層がもつ教育への関心がこの雑誌の発行部数の伸びを支えた。なぜこの雑誌が受け入れられたのかについて、この雑誌の内容を示しながら説明しなさい。

問3 この時期のマスメディアの動向の一つとして、総合雑誌の発行部数の大きな伸びがある。総合雑誌とはなにか、その役割を含めて説明しなさい。

問4 『中央公論』に対抗する形で創刊された総合雑誌はなにか、その名称をあげなさい。

問5 この時期はマルクス主義が知識人に大きな影響を与えた。日本の近代社会の性格をめぐってマルクス主義者のなかで繰り広げられた論争は何と呼ばれているか。また、その内容について説明しなさい。



Ⅲ 次の資料は、1946年1月1日に天皇が発表した詔書である(一部の表記を改めている)。これを読んで下記の問いに答えなさい。(問1から問3まですべてで400字以内)

茲<sup>こゝ</sup>ニ新年ヲ迎フ。顧ミレバ明治天皇明治ノ初国是トシテ五箇条ノ御誓文ヲ下シ給ヘリ。曰ク、

一、広ク会議ヲ興シ万機公論ニ決スヘシ

(a) 一、上下心ヲ一ニシテ盛ニ経論ヲ行フヘシ

一、官武一途庶民ニ至ル迄各其志ヲ遂ケ人心ヲシテ倦マサラシメンコトヲ要ス

一、旧来ノ陋<sup>ろうしゅう</sup>習ヲ破リ天地ノ公道ニ基クヘシ

一、智識ヲ世界ニ求メ大ニ皇基ヲ振起スヘシ

叡旨<sup>えいし</sup>公明正大、又何ヲカ加ヘン。朕ハ茲ニ誓ヲ新ニシテ国運ヲ開カント欲ス。

須<sup>すべか</sup>ラク此ノ御趣旨ニ則リ、旧来ノ陋習ヲ去リ、民意<sup>みんい</sup>ヲ暢<sup>ちやうたつ</sup>達シ、官民拳ゲテ平和主義ニ徹シ、教養豊カニ文化ヲ築キ、以テ民生ノ向上ヲ図リ、新日本ヲ建設スベシ。(中略)

然レドモ朕ハ爾<sup>なんじら</sup>等国民ト共ニ在リ、常ニ利害ヲ同ジウシ休戚<sup>きゅうせき</sup>ヲ分タント欲ス。

(b) 朕ト爾等国民トノ間ノ紐<sup>ちゆうたい</sup>帯ハ、終始相互ノ信賴ト敬愛トニ依リテ結バレ、単ナル神話ト伝説トニ依リテ生ゼルモノニ非ズ。天皇ヲ以テ現御神<sup>あきつみかみ</sup>トシ、且日本国民ヲ以テ他ノ民族ニ優越セル民族ニシテ、延テ世界ヲ支配スベキ運命ヲ有ストノ架空ナル觀念ニ基クモノニモ非ズ。(後略)

(注) 休戚：喜びと悲しみ。

問 1 下線部(a)の方針にもかかわらず、その後創設された議会制度は、国民の政治参加や衆議院の権限を限定的にしか認めなかった。それはどのような限定であったのか、またそうした限定を取り払うために、第二次大戦後に議会制度がどのように変革されたのかについて説明しなさい。

問 2 この詔書の発表に先立って実施された「人権指令」と呼ばれる GHQ の施策について、当時の日本政府の対応も含めて説明しなさい。

問 3 下線部(b)の中で、なぜ「架空ナル観念」を否定しているのか。その理由について簡潔に説明しなさい。